

教科	数学科	学年	3年	時間数	5 / 週
使用教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学数学2 (教育出版) A WinPass 中学数学2 (文理) B 基礎から発展へ 数学2年 (正進社) <p>⑨AおよびBは課題を中心に活用する。</p>				
学習の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を用いた式と2元1次方程式，平面図形と数学的な推論，1次関数，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数式化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ・ 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力，数学的な推論の過程に着目し，図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力，数量関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，複数の集団のデータの分布に着目し，その傾向を比較して読みとり批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。 					

評価基準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数式化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができた。	数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けることができた。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付けることができた。
評価の仕方	定期試験，提出物などによる平常点をもとに総合的に評価する。	

教科書	単元		各月における進捗予定													
			1学期				2学期				3学期					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
第1章 式の計算	1	式の計算	●													
	2	式の活用	●	●												
第2章 連立方程式	1	連立方程式とその解き方		●	●											
	2	連立方程式の活用			●	●										
第3章 1次関数	1	1次関数				●	●									
	2	1次関数と方程式					●									
	3	1次関数の活用					●	●								
第4章 平行と合同	1	平行線と角						●	●							
	2	合同と証明							●							
第5章 三角形と四角形	1	三角形							●	●						
	2	四角形								●	●					
	3	三角形と四角形の活用									●	●				
第6章 確率	1	確率										●	●			
第7章 データの分析	1	データの散らばり												●		
	2	データの活用												●		
1年間のまとめ														●	●	

その他特記事項

○習熟度別の少人数指導は、週2時間を利用し問題演習を中心に行う。